

# MIYAKO KATO DANCE SPACE 2016

アサヒ・アートスクエア協力事業



どうしても今 記憶に留めたい  
作品の改訂創作版2本と  
新作 男性ソロ(加藤みや子作)、  
新作 女性トリオ(畦地亜耶加作)の  
4作品でこの年の春を呼ぶ。

身体を持つドキュメントも  
太古から持続している波のように  
一瞬にして消えて また生まれていく。  
からだの声の唄が 叙事詩のように  
遙かから今へ聴こえてくる。

2016年3月4日(金)14:00/19:00 5日(土)13:30/18:00 アサヒ・アートスクエア

## 「Voice from Monochrome」～抜粋改訂版

加藤みや子 作 出演:石井かほる 武内靖彦 加藤みや子 畦地亜耶加 寺杣 彩  
木原浩太 小山まさし 鈴木泰介 長谷川暢 西名糸江 細川麻実子 小松 睦 ほか

## 「私についてきて」連鎖する意志～身体は覚えている～

加藤みや子 作 出演:立花あさみ 横田 恵 尾身美苗 田路紅瑠美 四戸由香 江藤裕里亜 上村有紀 杉山佳乃子 高宮 梢 斉藤稚紗冬 ほか

## 「Melt」

畦地亜耶加 作 出演:寺杣 彩 小松 睦 畦地亜耶加

## 「踊る、役に立たない機械」

ブルーノ・ムナーリ「役に立たない機械」より 加藤みや子 作 出演:木原浩太





# MIYAKO KATO DANCE SPACE 2016



## 『Voice from Monochrome』～抜粋改訂版

フルバージョン初演(2013年3月、横浜KAAT大スタジオ)から3年、3.11東日本大震災から5年。熱く迎えられたドミニカ共和国の舞台をへて甦る身体の記憶を再生する。初演時、その表現の深さで存在感を放った舞踊家で石井漠の最後の直弟子、石井かほる、舞踏家・大野一雄の高弟、武内靖彦が加藤みや子と共に3つの基点として登場。独特な表現力で活躍する中堅、若手ダンサーが交差していく。津波にのまれた3.11と、2011年にリリースされたスティーヴ・ライヒ作曲の「WTC 9/11」による9.11の瓦礫と煙の場面が繋がっていく。生命体であること、その感覚を呼び起こされるように。

演出・構成・振付：加藤みや子

出演：石井かほる 武内靖彦 加藤みや子

畦地亜耶加 木原浩太 小山まさし 寺杣 彩

西名糸江 細川麻実子 横田 恵 鈴木泰介 長谷川暢

尾身美苗 田路紅瑠美 四戸由香 江藤裕里亜 小松 陸 関日音

中村泉輝 杉山佳乃子 高宮 梢 斉藤稚紗冬 寺崎ゆい子 鈴木紺葉

高橋 郁 小林千耀 清田鮎子 渡邊かれん 野瀬迪子 小林日香里

澤村 亮 福島玖字也 冬川耕佑

美術：山本伸樹 映像：畦地拓治 映像操作：大橋 翔

## 『私についてきて』連鎖する意志 ～身体は覚えている～

初演(2015年7月「現代舞踊展」メルパルクホール)は、センサーのように連鎖する、誰もがリーダーになりフォロワーになる。まるで渡り鳥や鱸の群れの様な動きが出現するワークが基本にある。時に見失っていくリーダーに戦火に消えたジャーナリスト、シリアの戦火で母を失い路上に描いた母の絵に抱かれるように眠る難民の子の姿を重ねていく。

演出・構成・振付：加藤みや子

出演：立花あさみ 横田 恵 尾身美苗 田路紅瑠美 四戸由香 江藤裕里亜

上村有紀 杉山佳乃子 高宮 梢 斉藤稚紗冬 小林千耀 清田鮎子

木原浩太 長谷川暢 丹 哲郎 渡會 慶

## 『Melt』

構成・振付：畦地亜耶加

出演：寺杣 彩 小松 陸 畦地亜耶加

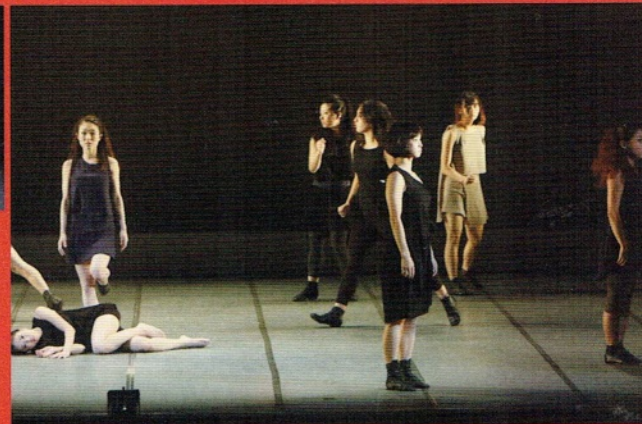
## 『踊る、役に立たない機械』

ブルーノ・ムナーリ「役に立たない機械」より

構成・振付：加藤みや子

出演：木原浩太

舞台監督：十亀脩之介 照明：斎藤 香 音響：サエグサユキオ  
衣裳：武田晴子 宣伝美術：江尻ひかる 宣伝写真：staff tes  
企画・制作：斎藤 朋(マルメロ) アネックス仙川ファクトリー  
主催：加藤みや子ダンススペース 助成：芸術文化振興基金



## 特別出演

石井かほる

石井漠最後の弟子、フルブライト研究員でジュリアード音楽院卒。国際的な活躍をする舞踊家。他ジャンルの仲間と問題意識を深めた新鮮で鋭い作品を発表し続ける。「かほる&TDT」の世界公演、欧米、アジアで公演、講演を行なう。愛・平和を祈り踊る「かほるのゲリラダンス・旅の途中」を野外で行脚中。昨年はブラジルSP大学、SP演劇学校、entreVaoなどで公演、ワークショップなどを行ない若者達と新鮮な交流をはかる。

武内靖彦

1968年土方巽「肉体の叛乱」に衝撃を受ける。71年「単独処女舞踏会」。73年大野一雄氏に師事。2011年「舞踏よりの召喚・踏業40周年記念独舞リサイタル」、15年「途中の化・初めての帰り道」。ココまでを一貫して独舞自主公演の続行。近年、自宅スタジオ(サイプレス)での公演に主舞台を移しつつある。シリーズ/光と闇の教室、重力の都、素型原寸考、パンドラの柳行李など。23回舞踊批評家協会賞を大野一雄師と同時受賞。

## 振付

畦地亜耶加

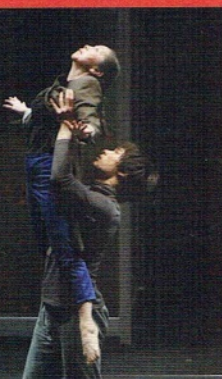
2009年よりサシャ・ヴァルツ&ゲズツによる作品『Continu』『Roméo et Juliette』『Matsukaze』等に出演中。これまで加藤みや子、伊藤キム+輝く未来等に参加。2007年笠井舞踏学校を修了。主にベルリンと日本で、自身の作品や様々な作家とのコラボレーション作品も多数創作、発表している。

加藤みや子

舞踊家。加藤みや子ダンススペース主宰。後に藤井公・利子に師事、東京創作舞踊団主要メンバーとして活躍。78年文化庁派遣研修より帰国後、加藤みや子ダンススペース設立。毎年カンパニー作品を発表。一方、アネックス仙川ファクトリーを拠点として、五感開発ワークショップを内外各地で開催している。また、ダンスと美術・音楽・評論が一同に会するアートフェスティバルHOT HEAD WORKSを主宰・開催、プロジェクトの総合ディレクターでもある。現在、ダンスアーカイブプロジェクト<ダンス=人間史>対談シリーズを展開。コラボレーションによる作品、ソロ活動は内外で高く評価されている。米ダンスフェスティバル招待参加、NY公演、仏公演、伯公演などがある。日本大学芸術学部非常勤講師。

加藤みや子ダンススペース

日本の現代ダンスを代表するカンパニーの一つとして国内外で認められ、多く先鋭的な作品を発表してきた。ヨーロッパ、アメリカ公演、近年では2008年ブラジル5都市の巡回公演(国際交流基金主催事業)、2013年ドミニカ共和国招聘公演など。他ジャンルの第一線のアーティストとのコラボレーション作品も手がけ、また、海外ダンサーとの交流や新しい公演形式の展開に挑戦しているカンパニーである。拠点であるアネックス仙川ファクトリーは、創造力を養う場として、また、他ジャンルの人が出会う実験スペースとして展開している。活動は舞台発表のみならず、舞踊を探っていくことへのこだわり、時に地方文化との交流、野外や美術館での試みを行い、観客層の拡げにも努めている。 <http://as-factory.jp/cn11/>



3月4日(金)開演14:00/19:00

5日(土)開演13:30/18:00

開場は各30分前

会場：アサヒ・アートスクエア

チケット 日時指定・全席自由

一般：前売 4,000円 当日 4,500円

学生：前売 3,000円 当日 3,500円

※ご来場日に学生証をご提示ください。

チケットお取扱い

Confetti (カンフェティ)

<http://confetti-web.com/>

Tel. 0120-240-540

受付時間 平日10:00~18:00

チケットお申込み、お問合わせ

アネックス仙川ファクトリー

asf@mac.com Tel. 03-3309-7200

Fax 03-3309-7263



アサヒ・アートスクエア

130-0001 墨田区吾妻橋1-23-1 スーパードライホール4F  
東京メトロ有楽町線「浅草駅」4、5番出口より徒歩5分  
都営地下鉄浅草線「本所吾妻橋駅」A3出口より徒歩6分  
東武線「浅草駅」より徒歩6分